



613-000316 Rev.C 060602

CP シリーズ IP 電話機一括設定ツール
(CP Configuration Update Tool Ver.2.2)
アドミニストレーターマニュアル

アライドテレシス株式会社

本書について

この度は、CentreCOM CP100TX をご購入いただきまして誠にありがとうございます。

本書は、CP シリーズ IP 電話機の一括設定ツールの使用方法を説明したマニュアルです。

また、本書は IP 電話機の設置業者や管理者を対象にしたマニュアルであり、弊社 Web ページにて提供いたしません（印刷物として、IP 電話機に付属していません）。

<http://www.allied-telesis.co.jp/>

表記について

アイコン

このマニュアルで使用しているアイコンには、次のような意味があります。

アイコン	意味	説明
 ヒント	ヒント	知っていると便利な情報、操作の手助けになる情報を示しています。
 注意	注意	物的損害や使用者が傷害を負うことが想定される内容を示しています。
 警告	警告	使用者が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
 参照	参照	関連する情報が書かれているところを示しています。

図 0.0.1 アイコン

製品名

「IP 電話機」と表記している場合は、CentreCOM CP100TX を意味します。

「本プログラム」と表記している場合は、一括設定ツールを意味します。

目次

本書について	2
表記について	2
1 CP シリーズ IP 電話一括設定ツールについて	4
1.1 機能	4
1.2 動作環境	4
1.3 適用機種	4
1.4 設定できない項目	4
1.5 インストール	5
1.6 アンインストール	5
2 作業の流れ	6
3 設定	7
IP 電話機への IP アドレスの設定	7
設定 csv ファイルのひな形の生成	7
設定 csv ファイルの編集	8
設定 csv ファイルのオープン	10
設定の実行	11
設定の再実行（コンテキストメニューの使用）	13
4 ファームウェアのバージョンアップ	14
バージョンアップの実行	14
ダウンロードの再実行（コンテキストメニューの使用）	17
A 付録	18
A.1 一括設定ツールの各部の名称とはたらき	18
File メニュー	18
Tools メニュー	18
コンテキストメニュー	19
Phone List ダイアログボックス	19
Update Setting Option ダイアログボックス	20
Update Firmware Option ダイアログボックス	21
A.2 設定 csv ファイルの詳細	22
ご注意	26
商標について	26
日本国外での使用について	26
マニュアルバージョン	26

1 CP シリーズ IP 電話一括設定ツールについて

1.1 機能

本プログラムは、CP シリーズの IP 電話機の設定や、ファームウェアのバージョンアップを一括で実行するツールです。本プログラムを使用することにより、IP 電話機の管理に要する労力を大幅に軽減することができます。本プログラムは、最大 253 台までの電話機を対象にすることができます。

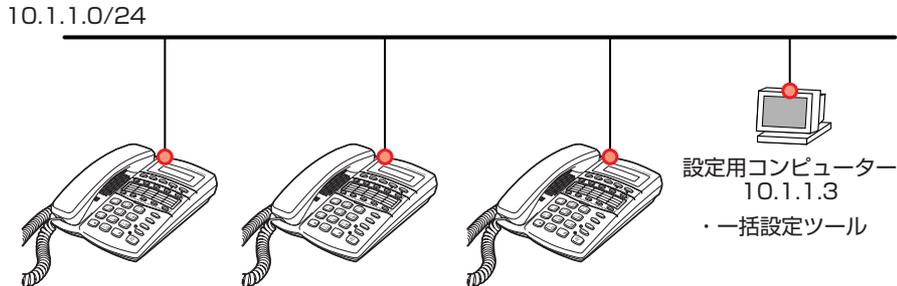


図 1.1.1

1.2 動作環境

本プログラムは、日本語版の下記の OS で動作いたします。

- Windows® 2000 Professional、Windows 2000 Server
- Windows XP
- Windows Server 2003

1.3 適用機種

本プログラムは、下記の機種の設定が可能です。

- CentreCOM CP100TX

1.4 設定できない項目

本プログラムは、下記の項目の設定ができませんので、ご了承のほどお願い申し上げます。設定可能な項目については、表 A.2.1 (p.22) をご覧ください。

- IP 設定方法 (「スタティック」または「DHCP」)
- IP アドレス (あらかじめ IP 電話機に設定されている IP アドレスを他の IP アドレスに変更することはできません)
- FTP サーバー (液晶ディスプレイのメニューによるファームウェアバージョンアップで使用する FTP サーバー)
- 表示言語 (「1. エイゴ」または「2. ニホンゴ」)
- パスワード (Web アクセスのためのパスワード)
- サマータイム有効 (未サポート)
- 日付書式 (「1.DD/MM/YY」または「2.MM/DD/YY」)
- 時刻書式 (「1.24 ジカンセイ」または「2.12 ジカンセイ」)

1.5 インストール

本プログラムは、「ATKKCUTvx.x.zip」という名称のアーカイブで提供されます。「vx.x」の部分は、ツールのバージョンに一致する番号です。zip アーカイブを適当なフォルダーで展開してください。下記では、「C:\Program Files\CUT」に展開しています。また、以下の手順では、v2.2 を例にしています。

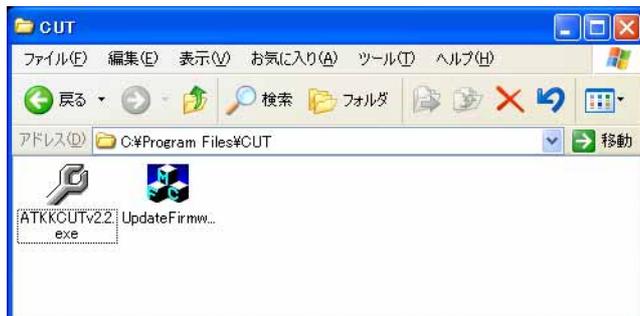


図 1.5.1 インストールされた状態

1.6 アンインストール

本プログラム（ATKKCUTvx.x.exe）をインストールされているフォルダーごと削除してください。

2 作業の流れ

本プログラムを使用した、IP 電話機の設定、ファームウェアバージョンアップの大まかな流れを示します。
(設定、ファームウェアバージョンアップは、同時に実行できません)

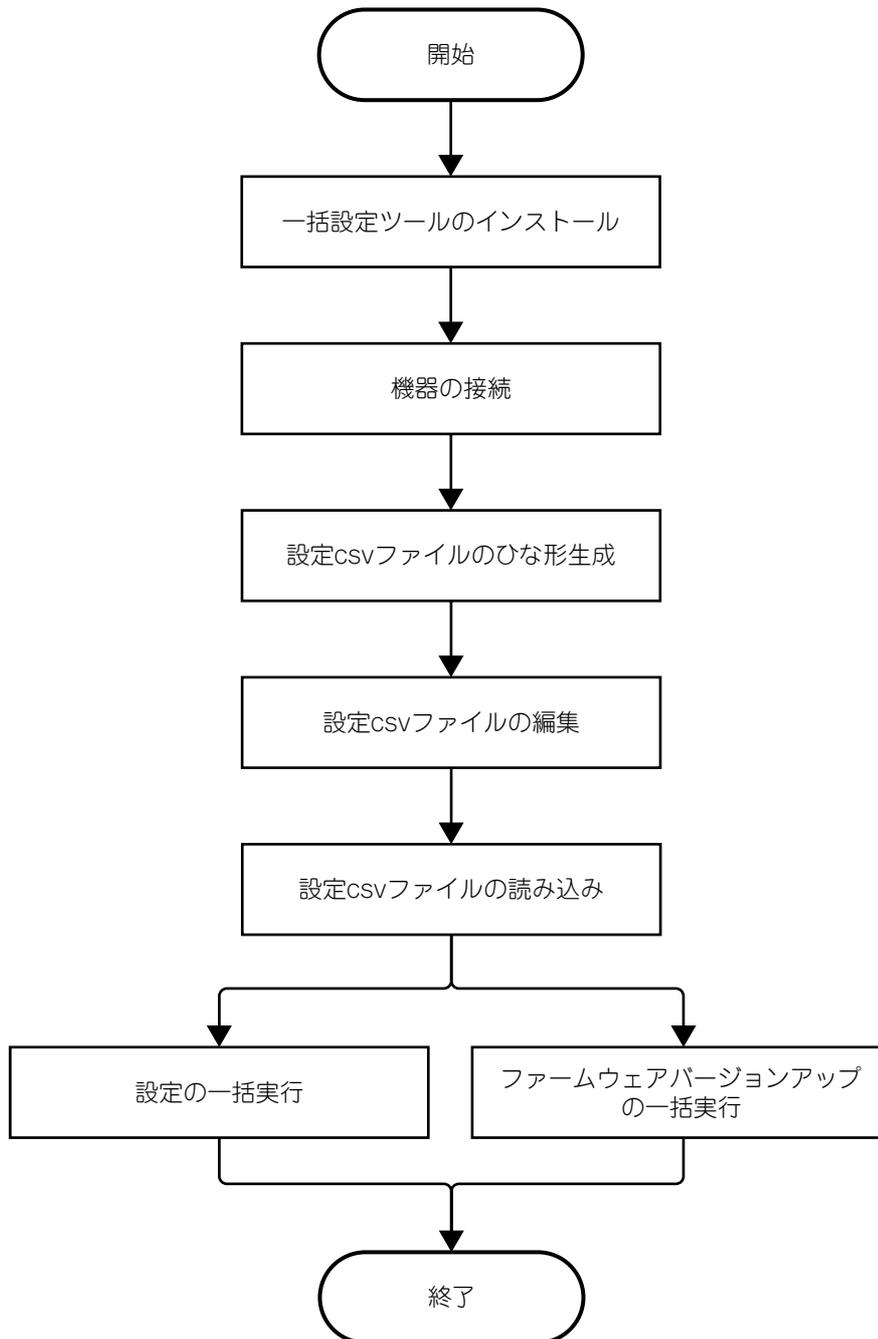


図 2.0.1 作業の流れ

3 設定

IP 電話機への IP アドレスの設定

以下の手順では、設定対象となるすべての IP 電話機と、設定用コンピューターが同一のネットワークに存在するものとします（図 1.1.1、p.4）。

- 1 液晶ディスプレイのメニューを使用し、設定対象となる IP 電話機すべてに対して、下記の3つを設定してください。設定対象には、それぞれ異なった IP アドレスを設定してください。ここで設定した IP アドレスは、そのまま運用時に使用される IP アドレスとなります。

- 「1.DHCP ユウコウ」を「イイエ」に設定
- 「4.IP アドレス」
- 「5. サブネットマスク」



別冊子「CentreCOM CP100TX アドミニストレーターマニュアル」の「5.3 ネットワークの設定」

- 2 設定用コンピューターと設定対象となるすべての IP 電話機をネットワークに接続します（設定用コンピューターと IP 電話機が同一ネットワークに存在すると仮定します）。

設定 csv ファイルのひな形の生成

- 3 本プログラムのアイコンをダブルクリックし、起動してください。



図 3.0.1 一括設定ツールの起動

- 4 「Tool」の「Crate Template」をクリックしてください。

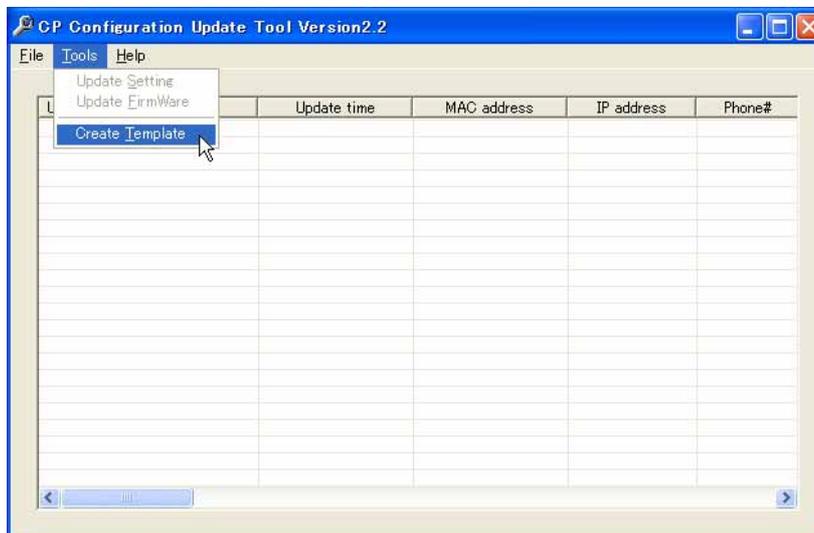


図 3.0.2 Create Template のクリック

- 5 「Phone List」 ダイアログボックスが現れ、ネットワーク上に存在する IP 電話機のリストが表示されます。「Create TemplateConfig」 ボタンをクリックしてください。

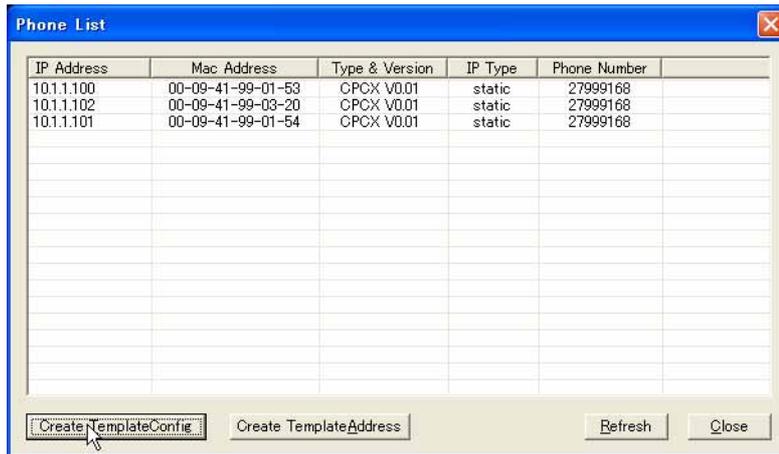


図 3.0.3 Create TemplateConfig のクリック

- 6 設定 csv のひな形となるファイルを「TemplateConfig.csv」（デフォルト）という名前で保存します。このひな形のファイルには、IP 電話機の現在の設定が反映されています。



「Phone List」 ダイアログボックスに IP 電話機のリストが表示されない場合（ネットワークで IP 電話機が検出されなかった場合）、あらかじめ本プログラムに組み込まれている静的なひな形のファイルが生成されます。

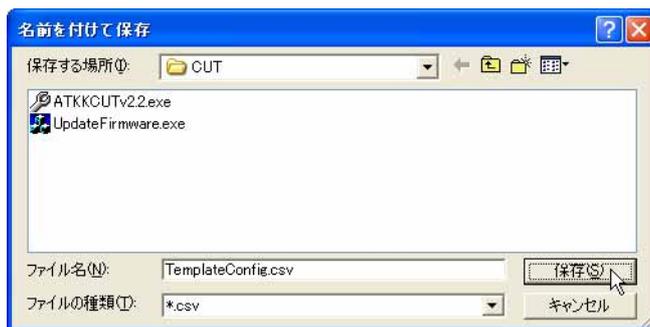


図 3.0.4 TemplateConfig.csv の保存

設定 csv ファイルの編集

- 7 「TemplateConfig.csv」 をダブルクリックしてください。



図 3.0.5 設定 csv ファイルのひな形を開く

- 8 表計算ソフトウェアによって、TemplateConfig.csv が開かれます（以下では、計算表ソフトウェアとして Excel を仮定します）。

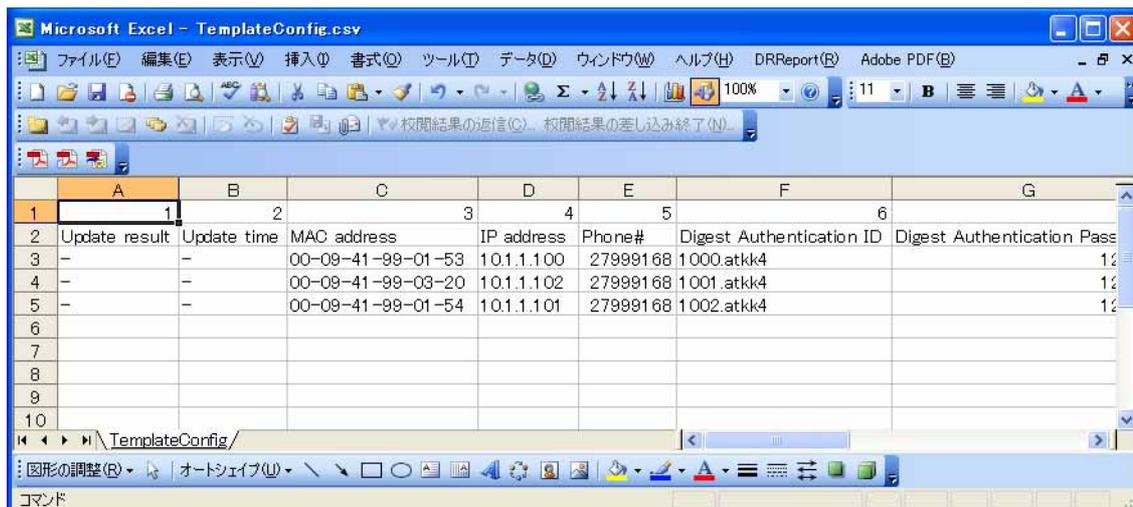


図 3.0.6 計算表ソフトウェアで開いた様子

- 9 お客様の環境にあわせて、設定 csv ファイルを編集してください。詳細は、「A.2 設定 csv ファイルの詳細」(p.22) を参照してください。

電話番号 (Phone#) や Digest Authentication Password などにおいて、計算表ソフトウェアに「0」で始まる数字を入力する場合は「0010」のように、数字の先頭にシングルクォート「'」を付加してください。先頭に「'」を付加することにより、計算表ソフトウェアがセルの内容を数値と解釈し、先頭の 0 を削除してしまうことを抑制することができます (セルの内容を数値と解釈するのではなく、文字列として扱うことができます)。

 参照 「A.2 設定 csv ファイルの詳細」 (p.22)

 ヒント 設定 csv ファイルの編集 (作成) は、IP 電話機の現在の設定が反映されたいな形を利用するのが便利ですが、設定 csv ファイルの編集の段階で、ネットワークの IP 電話機を検索できないような状況では、手順 6 (p.8) のヒントの静的なひな形を使用してください。その場合は、MAC address は空欄でかまいません。

- 10 「ファイル」の「名前を付けて保存」をクリックしてください。

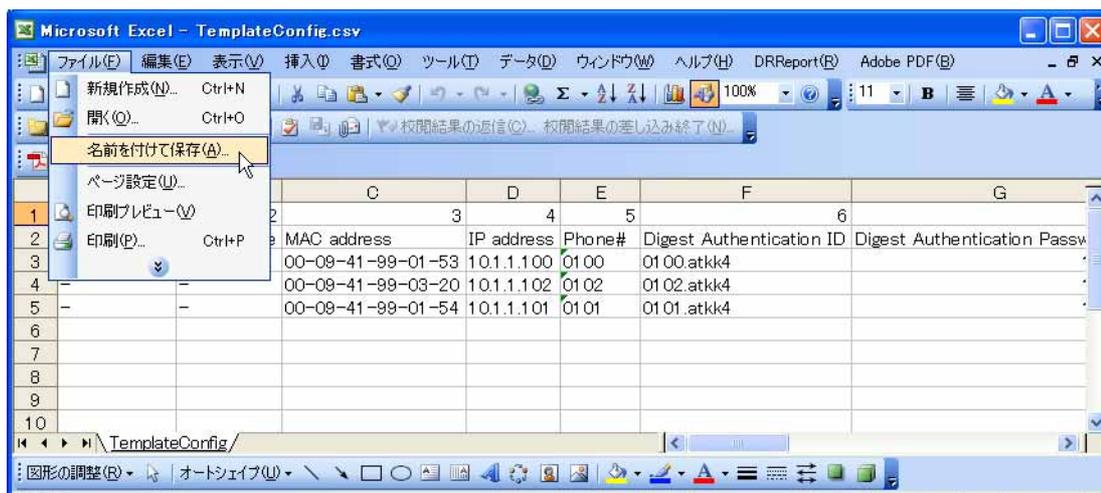


図 3.0.7 設定 csv ファイルの保存

11 TemplateConfig.csv 以外の名前を付けて保存します。以下では「yoursite.csv」を仮定します。

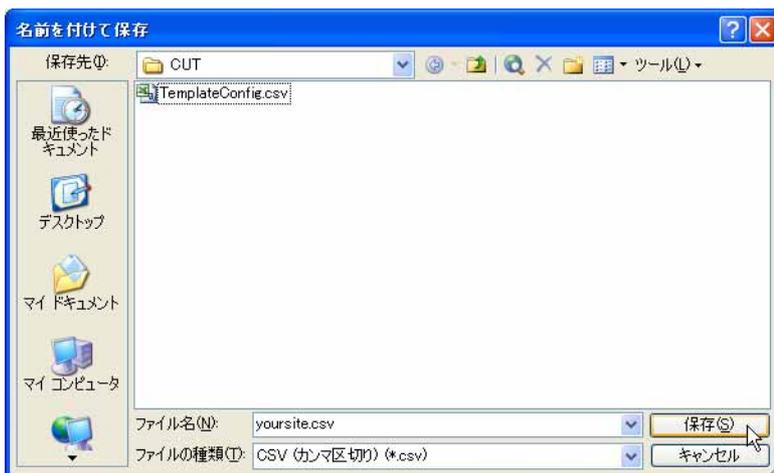


図 3.0.8 設定 csv ファイルに名前を付ける

12 「はい」 ボタンをクリックしてください。

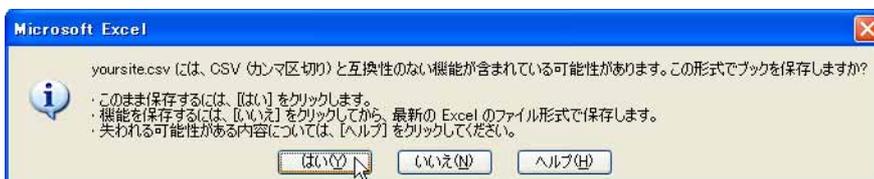


図 3.0.9 csv 保存の確認

13 必要であれば、再度「ファイル」の「名前を付けて保存」をクリックし、xls 形式でも保存しておいてください。

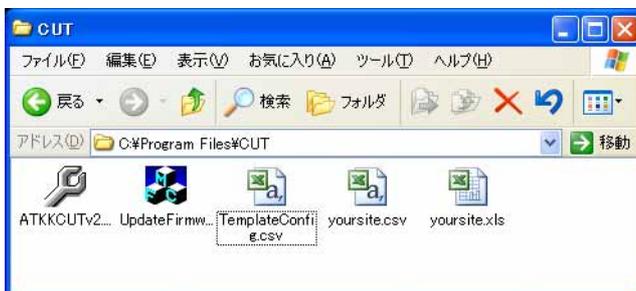


図 3.0.10 xls 形式での保存

設定 csv ファイルのオープン

14 「File」の「Open」をクリックし、編集した設定 csv ファイル（yoursite.csv）を開いてください。

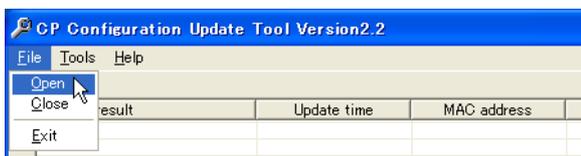


図 3.0.11 Open のクリック

パラメーターのチェックが行われ、誤りがあった場合、次のようなメッセージが表示されます。

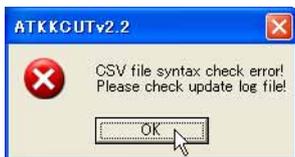


図 3.0.12

誤りの内容は、ログファイルで確認することができます。ログファイルは、「Log 日付 - 時刻.txt」例えば「Log06-05-23-19-41-11.txt」のようなファイル名で、本プログラムがインストールされているフォルダーに出力されます。下記に、ログの例を示します。ログで表示される line の番号は、計算表ソフトウェア（csv ファイル）の行番号に一致します。

```

===== Phone config file(yoursite.csv) error report =====
[NOTE: Here line number means the Excel's row!]

06.05.23 19:41:13 Uniqueness Error
Phone#(0100) duplicate entries: line3, line6

06.05.23 19:41:13 Syntax Error
line7: Primary DNS(item10) parameter error!

```

読み込んだ内容に誤りが存在する場合、「Update Setting」はグレイアウトし、IP 電話機に対して設定を施すことはできません。

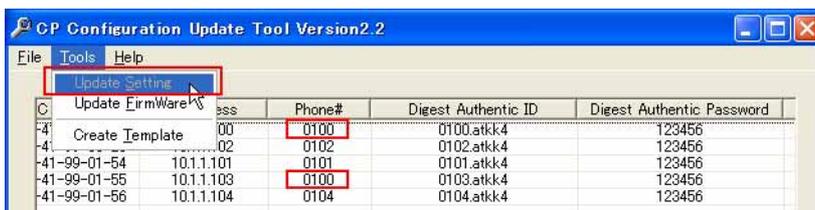


図 3.0.13 Update Setting のグレイアウト

ログを参考にし、誤りがなくなるまで設定 csv ファイルを修正してください。

設定の実行

- 「Tools」の「Update Setting」をクリックするか、リストの右クリックで表示されるコンテキストメニューの「update all setting」をクリックしてください。「Update Setting」「update all setting」は、リストされているすべての IP 電話機に対して、上から順番に設定を試みます。



設定の実行は、IP 電話機と設定用コンピューターが同一ネットワークに接続されている環境で実行することをお勧めいたします。

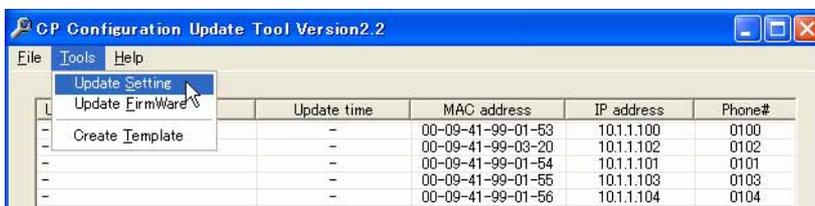


図 3.0.14 Update Setting のクリック

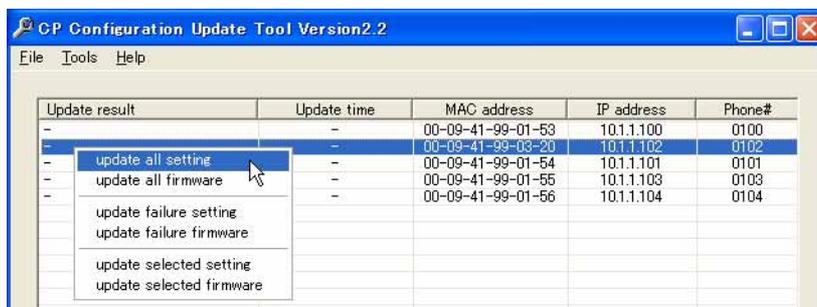


図 3.0.15 コンテキストメニュー update all setting

16 「Update PhoneConfig」にチェックを入れ、「OK」ボタンをクリックしてください。



図 3.0.16 Update PhoneConfig のチェック

17 リストの上から順に設定が実行され、「Update result」欄に結果が表示されます。この結果のリストは、「Update 日付 - 時刻 .csv」例えば「Update06-05-23-20-06-43.csv」のようなファイル名で、本プログラムがインストールされているフォルダーに出力されます。また、実行の成功、失敗の原因がログファイルとして出力されます。

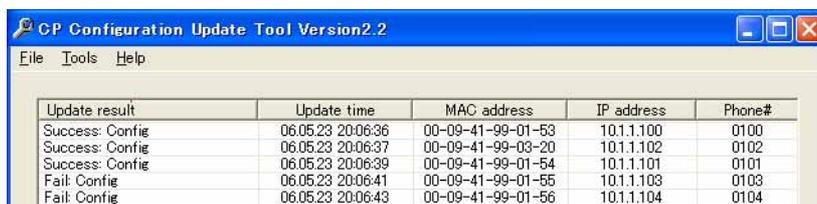


図 3.0.17 設定の結果のリスト

すべての実行が終了したら、下記のメッセージボックスが表示されます。

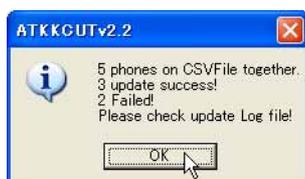


図 3.0.18 設定の終了

設定の再実行（コンテキストメニューの使用）

18 設定が失敗した場合、ログファイルで原因を確認します。

```
===== Phone config file(yoursite.csv) error report =====
[NOTE: Here line number means the Excel's row!]

===== Update Report =====
06.05.23 20:06:35
Phone(00-09-41-99-01-53) config update success!

06.05.23 20:06:36
Phone(00-09-41-99-03-20) config update success!

06.05.23 20:06:37
Phone(00-09-41-99-01-54) config update success!

06.05.23 20:06:39
ERROR: Phone(00-09-41-99-01-55) TCP/IP connect error!

06.05.23 20:06:41
ERROR: Phone(00-09-41-99-01-56) TCP/IP connect error!

06.05.23 20:06:43
5 phones on CSVFile together.
3 update success!
2 Failed!
Please check update Log file!
```

失敗が発生した場合、ネットワークの状況、設定 csv ファイルなどの失敗の原因を修正し、再度 IP 電話機に対する設定を実行してください。

再実行は、失敗した IP 電話機に対してのみ行えばよいので、コンテキストメニューの「update failure setting」や「update selected setting」をクリックするのが便利です。

「update selected setting」では、Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら、マウスの左ボタンをクリックすることにより、複数の電話機を選択できます。

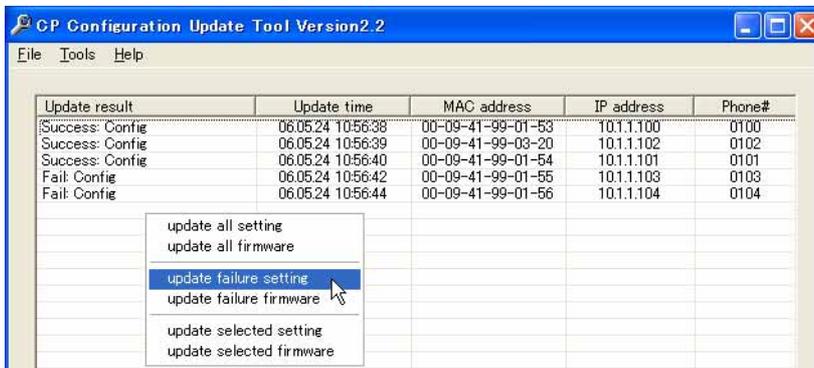


図 3.0.19 update failure setting のクリック

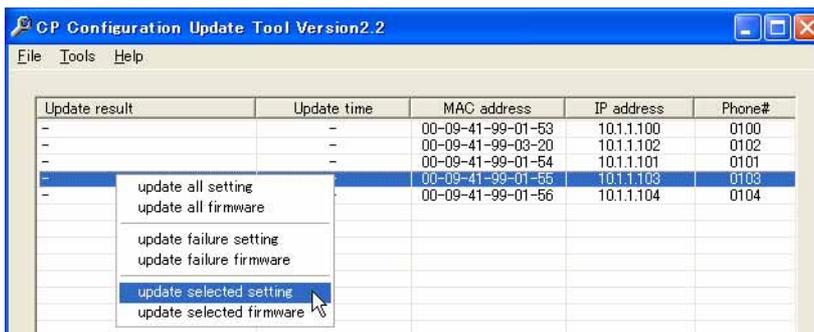


図 3.0.20 update selected setting のクリック

4 ファームウェアのバージョンアップ

- 「3 設定」(p.7) の手順 1 から手順 14 になって、設定 csv ファイルを用意してください。
ファームウェアをバージョンアップするには、設定 csv ファイルの「Update firmware」が「yes」(デフォルト) となっていなければなりません。
- 「File」の「Open」をクリックし、編集した設定 csv ファイルを開いてください。図 4.0.2 に読み込まれた、設定 CSV ファイルの「Update firmware」フィールドの様子を示します。

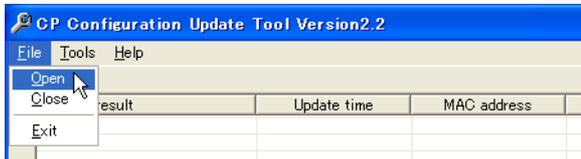


図 4.0.1 Open のクリック

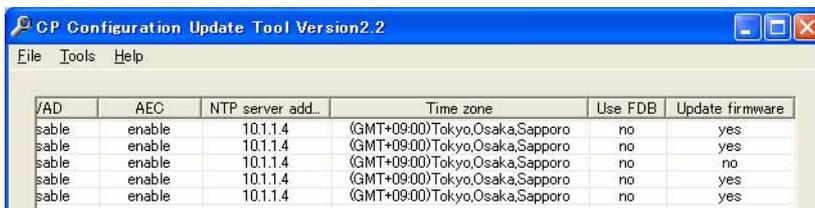


図 4.0.2 読み込まれた設定 csv ファイルの Update firmware フィールド

バージョンアップの実行

- 「Tools」の「Update FirmWare」をクリックするか、リストの右クリックで表示されるコンテキストメニューの「update all firmware」をクリックしてください。「Update FirmWare」「update all firmware」は、リストされているすべての IP 電話機に対して、上から順番にバージョンアップを試みます。



ファームウェアのバージョンアップは、IP 電話機と設定用コンピューターが同一ネットワークに接続されている環境で実行することをお勧めいたします。

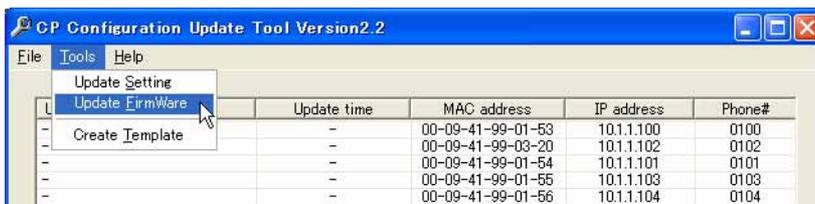


図 4.0.3 Update FirmWare のクリック

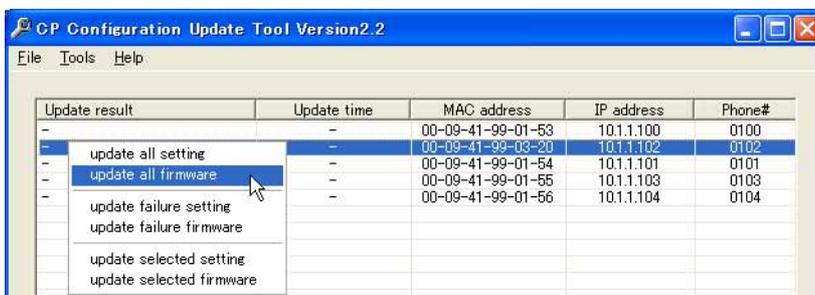


図 4.0.4 コンテキストメニュー update all firmware

- 4 「Open Firmware」 ボタンをクリックしてください。「ファイルを開く」ダイアログボックスが現れたら、ファームウェアファイルを指定してください。下記では、「CPCXv001c7.bin」を指定しています。

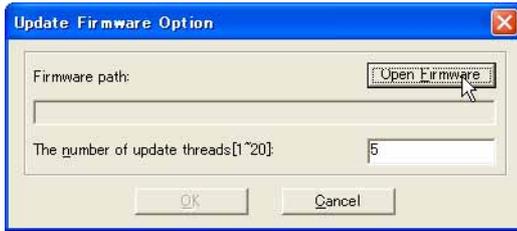


図 4.0.5 Open Firmware のクリック



図 4.0.6 ファームウェアファイルの選択

- 5 「OK」 ボタンをクリックしてください。



図 4.0.7 ダウンロードの実行

- 6 ダウンロードの経過を示すダイアログボックスが、現在実行中のセッション数だけ表示されます。

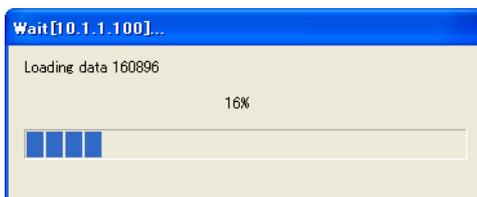


図 4.0.8 ダウンロードの経過

ダウンロードが実行されている間、IP 電話機の液晶ディスプレイには下記が表示されます。

Updating ...
オマチクタ* サイ



注意

IP 電話機へのファームウェアのダウンロード中は、絶対に IP 電話機の電源をオフにしないでください。

ダウンロードの再実行（コンテキストメニューの使用）

9 ダウンロードが失敗した場合、ログファイルで原因を確認します。

```
===== Phone config file(yoursite.csv) error report =====
[NOTE: Here line number means the Excel's row!]

===== Update Firmware Report =====
06.05.24 18:28:40
Phone(00-09-41-99-01-53) Transfer firmware finished!

06.05.24 18:28:41
Phone(00-09-41-99-03-20) Transfer firmware finished!

06.05.24 18:27:20
Phone(00-09-41-99-01-54) Skip update firmware by user configuration

06.05.24 18:27:23
Phone(00-09-41-99-01-55) Can not connect to IP phone

06.05.24 18:27:23
Phone(00-09-41-99-01-56) Can not connect to IP phone

06.05.24 18:28:43
5 phones on CSVFile together.
2 update success!
3 Failed!
Please check update firmware Log file!
```

失敗が発生した場合、ネットワークの状況、設定 csv ファイルなどの失敗の原因を修正し、再度 IP 電話機のバージョンアップを実行してください。

再実行は、失敗した IP 電話機に対してのみ行えばよいので、コンテキストメニューの「update failure firmware」や「update selected firmware」をクリックするのが便利です。

「update selected firmware」では、Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら、マウスの左ボタンをクリックすることにより、複数の電話機を選択できます。

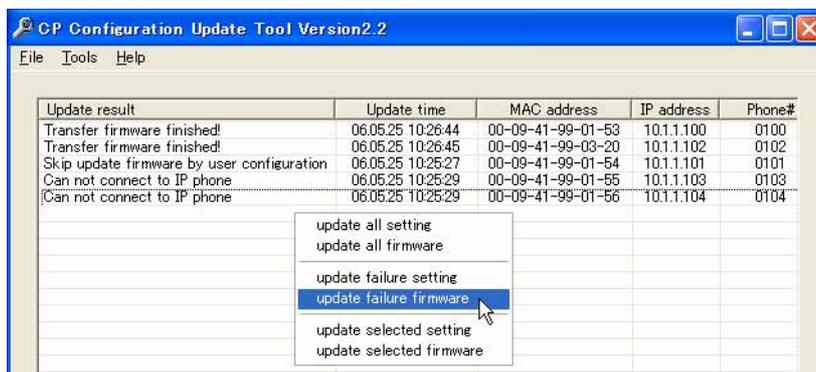


図 4.0.11 update failure firmware のクリック

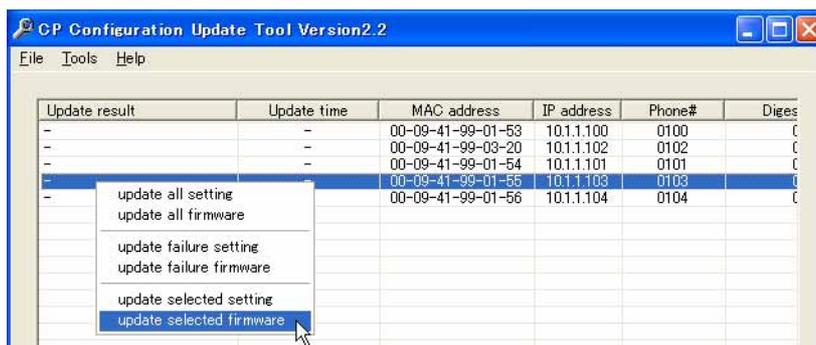


図 4.0.12 update selected setting のクリック

A 付録

A.1 一括設定ツールの各部の名称とはたらき

File メニュー

設定 csv ファイルのオープン、クローズに関するメニューです。

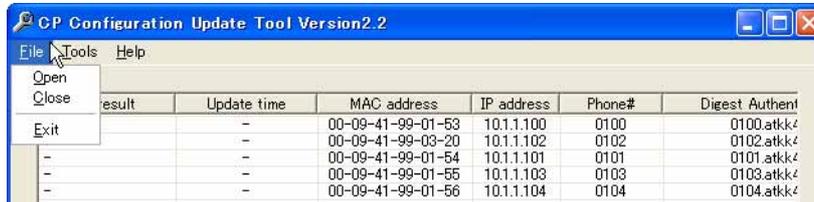


図 A.1.1 File メニュー

Open

設定 csv ファイルをオープンし、読み込みます。
ファイルのパラメーターチェックを行い、OK であった行がリストとして表示されます。

Close

オープン中の設定 csv ファイルを閉じます。

Exit

一括設定ツールを終了します。

Tools メニュー

設定 csv ファイルのひな形作成、設定の実行、ファームウェアのダウンロードに関するメニューです。

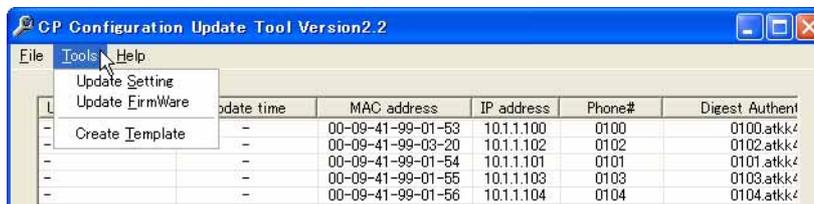


図 A.1.2 Tools メニュー

Update Setting

リストのすべての電話機の設定を実行します（この項目のクリックで、「Update Setting Option」ダイアログボックスが表示されます）。

この項目は、設定 csv ファイルがオープンされていないときは、クリックできません。

コンテキストメニューの「update all setting」と同じです。

Update Firmware

リストのすべての電話機のファームウェアをバージョンアップします（この項目のクリックで、「Update Firmware Option」ダイアログボックスが表示されます）。

この項目は、設定 csv ファイルがオープンされていないときは、クリックできません。

コンテキストメニューの「update all firmware」と同じです。

Create Template

設定用コンピューターと同一ネットワークに存在する IP 電話機を検索し、検索結果を「Phone List」ダイアログボックスとして表示します。

「Phone List」ダイアログボックスにより、設定 csv ファイルのひな形を生成します。

コンテキストメニュー

リストの右クリックで表示されるメニューです。

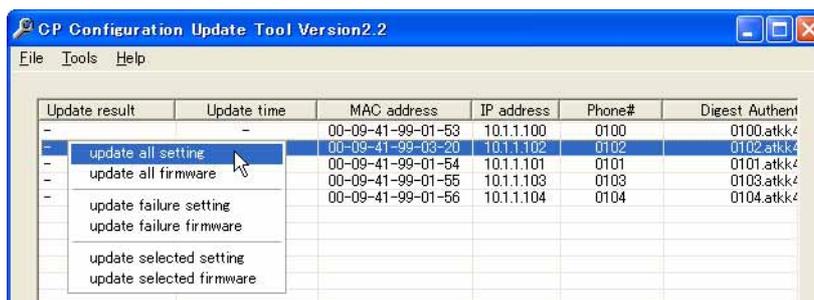


図 A.1.3 コンテキストメニュー

update all setting

リストのすべての電話機の設定を実行します。

update all firmware

リストのすべての電話機のファームウェアをバージョンアップします

update failure setting

「Fail: Config」が表示されている項の設定を再実行します。

update failure firmware

ダウンロードが失敗した項に対して、再度ダウンロードを実行します。

update selected setting

リスト表示されている電話機のうち、選択されている電話機の設定を実行します。Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら、マウスの左ボタンをクリックすることにより、複数の電話機を選択できます。

update selected firmware

リスト表示されている電話機のうち、選択されている電話機のファームウェアのバージョンアップを実行します。Ctrl キーまたは Shift キーを押しながら、マウスの左ボタンをクリックすることにより、複数の電話機を選択できます。

Phone List ダイアログボックス

「Tools」→「Create Template」のクリックで表示されるダイアログボックスで、設定用コンピューターが接続されているネットワークに存在する IP 電話機の検索結果が表示されます。この画面により、設定 csv ファイルのひな形を作成します。

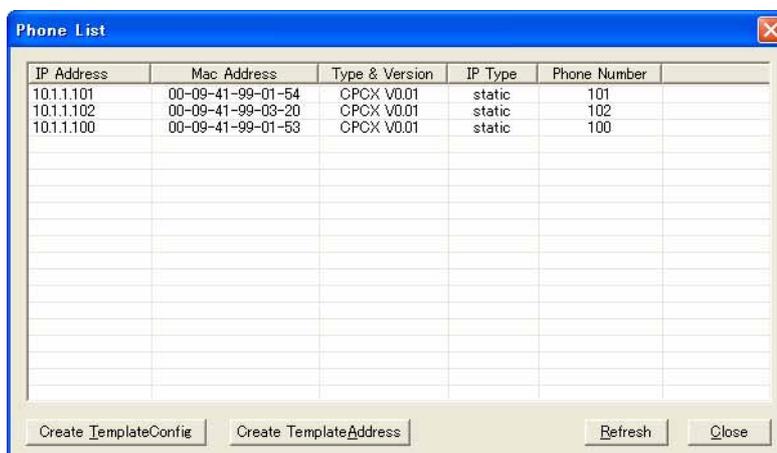


図 A.1.4 Phone List ダイアログボックス

Create TemplateConfig ボタン

設定 csv のひな形となるファイルを生成します。

Phone List ダイアログボックスに IP 電話機のリストが表示されている場合、リストの IP 電話機の現在の設定が反映されたひな形が生成されます。

IP 電話機のリストが表示されていない場合、例えば同一ネットワークに IP 電話機が存在しないような場合は、図 A.1.5 のダイアログボックスが現れ「はい」ボタンをクリックすると、あらかじめ本プログラムに組み込まれている静的なひな形が生成されます。



図 A.1.5 同一ネットワークに IP 電話機が存在しない

Create TemplateAddress ボタン

未サポート機能です。

Refresh ボタン

リストを再描画（ネットワーク上の IP 電話機を再検索）します。

Close ボタン

「Phone List」ダイアログボックスを閉じます。

Update Setting Option ダイアログボックス

「Tools」→「Update Setting」のクリックで表示されるダイアログボックスで、設定のオプションを選択します（オプションは、「Update PhoneConfig」のみが選択可能です）。



図 A.1.6 Update Setting Option ダイアログボックス

Update PhoneConfig チェックボックス

設定を IP 電話機に適用するか否かを決めます（常にチェックを入れてください）。

Open Address CSV File ボタン

未サポート機能です。

Update Address PhoneBook チェックボックス

未サポート機能です。

Update FDB チェックボックス

未サポート機能です。

OK ボタン

設定を実行します。

Cancel ボタン

何もせず、ダイアログボックスを閉じます。

Update Firmware Option ダイアログボックス

「Tools」 → 「Update Firmware」 のクリックで表示されるダイアログボックスで、ファームウェアダウンロードのオプションを選択します。

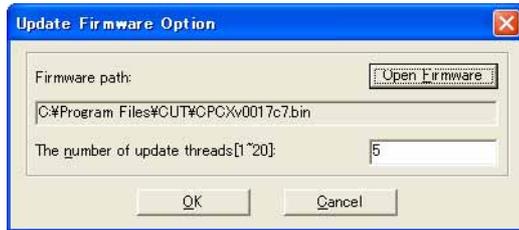


図 A.1.7 Update Firmware Option ダイアログボックス

Open Firmware ボタン

ダウンロードするファームウェアを指定します。

Firmware path テキストボックス

現在指定されているファームウェアのパス名が表示されます。

The number of update threads [1~20] テキストボックス

ファームウェアダウンロードのセッション数を入力します。デフォルトは 5 です（同時に 5 台を並列処理します）。

OK ボタン

ファームウェアのバージョンアップを実行します。

Cancel ボタン

何もせず、ダイアログボックスを閉じます。

A.2 設定 csv ファイルの詳細

下記に表計算ソフトウェアで開いた TemplateConfig.csv の様子を示します。

1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11
Update res	Update time	MAC address	IP address	Phone#	Digest Auth	Digest Auth	Subnet ma	Default gat	Primary DN	Secondary
-	-	00-09-41-10.1.1.100	10.1.1.100	27999168	1000.atkk4	123456	255.255.255.192	192.168.1.1	192.168.1.1	192.168.1.255
-	-	00-09-41-10.1.1.102	10.1.1.102	27999168	1001.atkk4	123456	255.255.255.192	192.168.1.1	192.168.1.1	192.168.1.255
-	-	00-09-41-10.1.1.101	10.1.1.101	27999168	1002.atkk4	123456	255.255.255.192	192.168.1.1	192.168.1.1	192.168.1.255

図 A.2.1 計算表ソフトウェアで開いた TemplateConfig.csv の様子

設定 csv ファイルを編集する際は、下記の点にご注意ください。

- 1 行目、2 行目はヘッダーです。設定の最初のエントリーは、3 行目から初めてください。

各フィールドの意味、設定内容は下記の通りです。

表 A.2.1 フィールドの詳細

項目名	詳細
1 Update result	設定 csv ファイルでは常にハイフン「-」を入力しておく。 一括設定ツールでは、IP 電話機に対する設定が成功したか否かが表示される。
2 Update time	設定 csv ファイルでは常にハイフン「-」を入力しておく。 一括設定ツールでは、IP 電話機に対する設定を試みた日時が表示される。
3 MAC address	MAC アドレス 「Create TemplateConfig」ボタンのクリックにより、「Phone List」に表示されている MAC アドレスが、設定 csv ファイルのひな形に出力される。 設定やファームウェアバージョンアップの実行時に、このフィールドは参照されないため、不明な場合などには空欄が許される。 (例) 00-09-41-99-01-53
4 IP address	IP アドレス IP アドレスを入力する (この IP アドレスを持つ IP 電話機が設定対象となる)。 (例) 10.1.1.100
5 Phone#	電話番号 数字のみ。最大 15 桁。 (例) 0001 計算表ソフトウェアに「0」で始まる数字を入力する場合は「0001」のように、数字の先頭にシングルクオート「'」を付加する。
6 Digest Authentication ID	Digest 認証用 ID SIP サーバーからの認証を受ける際に使用するユーザー名を入力する。 半角英数字。入力可能な文字、大文字小文字の区別はサーバーに依存する。 (例) 0001.gijutsu_dir
7 Digest Authentication Password	Digest 認証用 Password SIP サーバーからの認証を受ける際に使用するパスワードを入力する。 半角英数字。入力可能な文字、大文字小文字の区別はサーバーに依存する。 (例) passwd001
8 Subnet mask	サブサブネットマスク サブネットマスクを入力する。
9 Default gateway	デフォルトゲートウェイ デフォルトゲートウェイの IP アドレスを入力する。

表 A.2.1 フィールドの詳細 (続き)

10	Primary DNS server IP	プライマリー DNS サーバー IP プライマリー DNS サーバーの IP アドレスを入力する。設定しない場合は、文字列「null」または「0.0.0.0」の入力、または空欄にする。
11	Secondary DNS server IP	セカンダリー DNS サーバー IP セカンダリー DNS サーバーの IP アドレスを入力する。設定しない場合は、文字列「null」または「0.0.0.0」の入力、または空欄にする。
12	Use SIP server	SIP サーバー有効 SIP サーバーを参照するか否か。 「enable」、「disable」から選択する。
13	SIP server IP address	SIP サーバーアドレス SIP サーバーの IP アドレスまたはホスト名を入力する。 ホスト名の場合は 33 文字以内。大文字小文字を区別しない。 設定しない場合は、文字列「null」または「0.0.0.0」の入力、または空欄にする。 (例) 10.1.1.10、yoursipserver.yourdomain.co.jp
14	SIP domain name	SIP ドメイン名 SIP ドメイン名を入力する (32 文字以内)。大文字小文字を区別しない。設定しない場合は、文字列「null」の入力、または空欄にする。 (例) yourdomain.co.jp
15	DTMF Relay	DTMF リレー DTMF リレーの方法。 「Pass Through」、「RFC 2833」から選択する。 デフォルトは「Pass Through」。
16	SIP Dest Port#	SIP 宛先ポート SIP パケットの宛先ポート番号を入力する。 0 ~ 65535 が入力可能。 デフォルトは「5060」。
17	SIP Listen Port#	SIP 待ち受けポート SIP パケットの送信元ポート番号を入力する。 0 ~ 65535 が入力可能。 デフォルトは「5060」。
18	RTP Port#	RTP ポート番号 RTP パケットの送信元ポート番号を入力する。 0 ~ 65535 が入力可能。 デフォルトは「5000」。
19	RTP TOS	RTP TOS IP 電話機が送信する RTP パケットの IP TOS 優先度 (TOS オクテットの precedence)。 0、32、64、96、128、160、192、224 が入力可能。 デフォルトは「0」(無指定と同じ)。
20	Ring Tone	着信音 着信時の鳴動音を設定する。 「Tone1」 ~ 「Tone13」の 13 種類から選択する。 デフォルトは「Tone1」。
21	Codec	CODEC 発呼において優先的に使用する CODEC。 「G.711u」、「G.711A」、「auto」から選択する。 デフォルトは「G.711u」。 着呼では相手の CODEC に合わせるが、相手が指定してきた CODEC をサポートしていない場合は通話できない。 また、本 IP 電話機同士の通話において、発呼側が「auto」の場合、着呼側の CODEC の如何にかかわらず「G.711u」が優先される。
22	Handset volume	受話器音量 受話器の再生音量。 3 ~ 33 の値を入力する。デフォルトは「23」。
23	Speaker volume	スピーカー音量 スピーカーの再生音量。 1 ~ 15 の値を入力する。デフォルトは「11」。
24	VAD (未サポート)	vad (未サポート) 常に「disable」を設定する。 無音圧縮 (Voice Activity Detection) と無音時における背景雑音の擬似的生成 (Comfort Noise Generation) を行うか否か。

表 A.2.1 フィールドの詳細 (続き)

25	AEC	エコーキャンセラー エコーキャンセラーを有効にするか否か。 「enable」、「disable」から選択する。
26	NTP server address	NTP サーバー IP アドレス IP 電話機の起動時に時刻を同期する NTP サーバーの IP アドレスを入力する。設定しない場合は、文字列「null」または「0.0.0.0」の入力、または空欄にする。 (例) 10.1.1.6
27	Time zone	タイムゾーン 1～74 の値を入力する。「表 A.2.2 タイムゾーン」を参照。 日本の場合は「61」(デフォルト)を設定する。
28	Use FDB	FDB VoIP FDB を使用するか否か。 「yes」、「no」から選択する。デフォルトは「no」。
29	Update firmware	Update firmware ファームウェアをアップデートするか否か。 「yes」、「no」から選択する。デフォルトは「yes」。 「yes」のみが、「Tools」→「Update FirmWare」の対象となる。

表 A.2.2 タイムゾーン

Time zone の値	Time zone
1	(GMT-12:00)Eniwetok,Kwajalein
2	(GMT-11:00)Midway Island,Samoa
3	(GMT-10:00)Hawaii
4	(GMT-09:00)Alaska
5	(GMT-08:00)Pacific Time(U.S. & Canada)
6	(GMT-07:00)Mountain Time(U.S. & Canada)
7	(GMT-07:00)Arizona
8	(GMT-06:00)Mexico City
9	(GMT-06:00)Saskatchewan
10	(GMT-06:00)Central Time(U.S. & Canada)
11	(GMT-06:00)Central America,
12	(GMT-05:00)Bogota,Lima,
13	(GMT-05:00)Eastern Time(U.S. & Canada),
14	(GMT-05:00)Indiana(East),
15	(GMT-04:00)Atlantic Time(Canada),
16	(GMT-04:00)Caracas,La Paz,
17	(GMT-04:00)Santiago,
18	(GMT-03:30)Newfoundland,
19	(GMT-03:00)Brasilia,
20	(GMT-03:00)Buenos Aires,
21	(GMT-03:00)Greenland,
22	(GMT-02:00)Mid-Atlantic,
23	(GMT-01:00)Cape Verde Is.,
24	(GMT-01:00)Azores,
25	(GMT)Dublin,Edinburgh,London,Lisbon,
26	(GMT)Casablanca,Monrovia,
27	(GMT+01:00)Amsterdam,Berne,Rome,Stockholm,
28	(GMT+01:00)Belgrade,Budapest,
29	(GMT+01:00)Brussels,Copenhagen,Madrid,Paris,
30	(GMT+01:00)Sarajevo,Sofija,Warsaw,
31	(GMT+01:00)West Central Africa,
32	(GMT+02:00)Bucharest,
33	(GMT+02:00)Harare,
34	(GMT+02:00)Riga,
35	(GMT+02:00)Cairo,
36	(GMT+02:00)Athens,Istanbul,
37	(GMT+02:00)Jerusalem,

表 A.2.2 タイムゾーン (続き)

38	(GMT+03:00)Baghdad,
39	(GMT+03:00)Kuwait,Riyadh,
40	(GMT+03:00)Moscow,St.Petersburg,
41	(GMT+03:00)Nairobi,
42	(GMT+03:30)Teheran,
43	(GMT+04:00)Abu Dhabi,Muscat,
44	(GMT+04:00)Baku,
45	(GMT+04:30)Kabul,
46	(GMT+05:00)Ekaterinburg,
47	(GMT+05:00)Islamabad,Karachi,
48	(GMT+05:30)Calcutta,Bombay,New Delhi,
49	(GMT+05:45)Katmandu,
50	(GMT+06:00)Novosibirsk,
51	(GMT+06:00)Dacca,
52	(GMT+06:00)Sri Jayawardenepura,
53	(GMT+06:30)Rangoon,
54	(GMT+07:00)Krasnoyarsk,
55	(GMT+07:00)Bangkok,Jakarta,Hanoi,
56	(GMT+08:00)Beijing,Hong Kong,Urumqi,
57	(GMT+08:00)Kuala Lumpur,Singapore,
58	(GMT+08:00)Perth,
59	(GMT+08:00)Taipei,
60	(GMT+08:00)Ulan Bator,
61	(GMT+09:00)Tokyo,Osaka,Sapporo,
62	(GMT+09:00)Seoul,
63	(GMT+09:00)Yakutsk,
64	(GMT+09:30)Adelaide,
65	(GMT+09:30)Darwin,
66	(GMT+10:00)Brisbane,
67	(GMT+10:00)Vladivostok
68	(GMT+10:00)Guam,Port Moresby
69	(GMT+10:00)Hobart
70	(GMT+10:00)Canberra,Melbourne,Sydney
71	(GMT+11:00)Magadan,Sol.Is.
72	(GMT+12:00)Kamchatka,Marshall Is.
73	(GMT+12:00)Wellington,Auckland
74	(GMT+13:00)Nuku'alofa

ご注意

本書に関する著作権等の知的財産権は、アライドテレシス株式会社（弊社）の親会社であるアライドテレシスホールディングス株式会社が所有しています。

アライドテレシスホールディングス株式会社の同意を得ることなく、本書の全体または一部をコピーまたは転載しないでください。

弊社は、予告なく本書の全体または一部を修正・改訂することがあります。

また、弊社は改良のため製品の仕様を予告なく変更することがあります。

© 2005,2006 アライドテレシスホールディングス株式会社

商標について

CentreCOM はアライドテレシスホールディングス株式会社の登録商標です。

Windows は、米国 Microsoft Corporation の登録商標です。

その他、この文書に掲載しているソフトウェア、周辺機器、サービスの名称などは、各メーカーの商標または登録商標です。

日本国外での使用について

弊社製品を日本国外へ持ち出されるお客様は、下記窓口へご相談ください。

 0120-860442

月～金（祝・祭日を除く）9:00 ～ 17:30

マニュアルバージョン

2006年6月 Rev.C Ver.2.2

2005年11月 Rev.B 暫定版（Ver.1.3）

2005年9月 Rev.A 暫定版（Ver.1.1）